

ナノ材料リスク評価書 -二酸化チタン(TiO<sub>2</sub>)-  
最終報告版：2011.7.22 Executive Summary  
更新履歴

**【2011.9.20 版 Executive Summary】**

- P2, P16 (参考文献), P17, P44 (表 V.8), P46, P49 : 体裁整え
- P3 『Van der Waals 力』 → 『Van der Waals 力』
- P8 (図 III.7) 『Schneider & Jensen (2008) : 回転ドラム法, 顔料級(一次粒子径 : 130-150 nm)』  
→ 『Schneider & Jensen (2008) : 小型回転ドラム法, Kemmira UV-TITAN M111 (一次粒子径 : 18.6 nm) & 顔料級(一次粒子径 : 130-150 nm)』
- P25 (表 IV.2) TiO<sub>2</sub> ナノ粒子の気管内投与試験 (4/4) の脚注の文字の誤りを修正
- P26~27 : 一文削除 『さらに, ナノサイズ TiO<sub>2</sub> は顔料グレード TiO<sub>2</sub> よりもフリーラジカル活性が強い (Donaldson et al. 1996) ことが報告されている.』
- P27, P36, P47 : 誤字脱字修正
- P29~45 : ヘッダーの削除
- P32 : 『金で表面修飾したコロイド粒子』 → 『コロイド金粒子』
- P41 : 略語を追加 『不確実性係数 (uncertainty factor: UF)』
- P41 : 『肺胞へ到達する量の』 という文を削除
- P43 (式) : 『好中数』 → 『好中球数』
- P45 (表 V.9) : 表の最上段左から 2 つ目 『(2005, draft)<sup>a</sup>』 → 『NIOSH (2005, draft)<sup>a</sup>』